

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(8)	馴染みの方との関係性に個人差があり施設をあげ、定期的に行えていない。	1人でも多く、1回でも多く馴染みの方との関わる時間を増やしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方の希望を確認する ・日常的に回想法を利用して、馴染みの人場所を引き出していく ・盆、正月などの手紙(暑中見舞い・年賀)の実施 	6ヶ月 ～ 12ヶ月
2	(1 2)	重度化・終末期の対応 (医療機関により対応が難しい点) (職員への再教育)	利用者の方、スタッフに不安がないよう終末期の対応がなぜ必要か理解を得る	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期の対応に関する研修を定期的実施(虐待や身体拘束の学習も同時に行う) ・専門家による講義の実施 ・終末期になる前の判断で対応可能な医療機関への変更 	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。